Panasonic

電話・FAX機能ソフトウェア

モバイルフォン
取扱説明書

ご使用前に

使いかた

困ったときに

モバイルフォンでできること

電話・FAX機能ソフトウェア「モバイルフォン」を使って、以下の機能を活用することができます。
（あらかじめ電話回線の接続や設定が必要です。）

コンピューターを電話機として使う

- ハンズフリー機能　（→ 6ページ）
  受話器を持たずに会話ができる機能です。
- 留守番電話機能　（→ 8ページ）
  かかってきた電話に出られなかったとき、相手のメッセージをファイルに保存します。

コンピューターをFAXとして使う

- クイック送信機能　（→ 14ページ）
  伝えたい内容をテキスト入力して、送付状（表紙）を自動的に添付し、すばやく送信できます。
- 文書送信機能　（→ 16ページ）
  アプリケーションソフトで作成した各種文書を「印刷」と同じ操作で送信できます。
- FAX受信機能（→ 18ページ）
  受信した内容の閲覧、ファイル保存、プリンター出力（プリンター別売）ができます。

その他の特徴

- TAPI対応　（→ 5ページ）
  待ち受け状態であれば、他の通信ソフトウェアを起動することができます。
- アドレス帳機能（→ 21ページ）
  Windows標準の「アドレス帳」（OutlookTM Express）に対応しています。
- 発信者番号表示機能*（→ 23ページ）
  ナンバーディスプレイ対応の回線を使用している場合、着信時に相手番号表示を行います。

*一部の機種は対応していません。

接続・設定する

電話回線への接続・モデムの設定

電話・FAX機能を使う場合、コンピューター本体の取扱説明書にしたがって、電話回線への接続、およびモデムの設定を行ってください。

→　コンピューター本体取扱説明書
「通信環境を設定する」“ 電話回線に接続する ”

ご使用前に

お知らせ

- **使用するモデムについて**
  内蔵モデムを使用してください。
  携帯電話インターフェースユニット*（CF-VEFC33/CF-VEFC33E）、PCカードモデム、および外付けモデムを使用した場合、モバイルフォンのFAX機能のみ使用することができます。
  *コンピューターによっては使用できない機種があります。
- **マイクについて**
  通話に際して、コンピューターの内蔵マイクの位置およびマイク入力レベルをご確認ください。
  また、コンピューターによっては、内蔵マイクのないものがあります。
  その場合は、マイクの接続が必要です。詳しくは、コンピューター本体取扱説明書をご覧ください。

モバイルフォンを起動する

ここでは「モバイルフォン」の起動のしかたについて説明します。

1 「スタート」→「プログラム」→「モバイルフォン」→「モバイルフォン」をクリックする。

以下の画面（ダイヤラーと呼びます）が表示されます。
アイコンを連続してダブルクリックしたために、2つ同時に起動することがあります。後から起動したモバイルフォンは正常に動作しません。

ダイヤラー

拡張表示の状態での各部の働きを説明します。
機能の詳細については、各ページを参照してください。

留守番電話切替
留守番電話にする／しないを切り替えます。

着信一覧表示
留守番メッセージまたはFAX受信の一覧を表示します。

相手先表示
相手先の電話番号が表示されます。

ジョグボタン
アドレス帳を作成している場合、登録している内容を順に表示します。

ダイヤル開始
相手先表示に表示された番号にダイヤルを開始します。

表示クリア
相手先表示をリセットします。

FAX送信
FAX送信画面を表示します。

数字ボタン
ダイヤル入力に使います。

拡張表示終了
数字ボタンや音量調整ボタンが必要ないとき、ダイヤラーをコンパクトに表示できます。

音量調整
スピーカーの音量を調整します。

◆モバイルフォンが起動すると

電話およびFAXの待ち受け状態になります。
モバイルフォンはTAPI対応ソフトウェアです。起動していても待ち受け状態であれば、インターネット接続や電子メールなど電話回線を使ったアプリケーションを使うことができます。ただし、この間は、モバイルフォンによる電話やFAXの送受信を行うことができません。

お知らせ

- **待ち受け状態とは**
  いつでも電話の応答およびFAXの送受信ができる状態をいいます。
- **TAPI対応とは**
  電話回線を常時占有せず、待ち受け状態では他のアプリケーションの起動に応じて回線を開放します。
- **音声について**
  スピーカーをオフにしていたり、「ボリュームコントロール」を全ミュートや、「Wave」をミュートに設定している場合、電話の呼び出し音が聞こえません。また、音声を使った機能（以降「ボイス機能」と呼びます）を使うことができません。
- **表示メッセージについて**
  英語で表示されることがあります。

お願い

- **ハウリングを防ぐために**
  マイク（マイクを接続している場合）と内蔵スピーカーを近づけすぎないでください。また、音量を上げすぎないでください。
- **モバイルフォン起動中の他のアプリケーションソフトについて**
  サウンドを再生するようなアプリケーションソフトとモバイルフォンを同時に使用しないでください。呼び出し音が聞こえないなど、モバイルフォンが正常に動作しない場合があります。
- **スタンバイ機能について**
  モバイルフォンによるFAX送受信中または通話中は、 Fn ＋ F10 のキー操作などを使ってスタンバイ状態に入らないでください。正常に動作しなくなります。
  また、モバイルフォン待ち受け状態でスタンバイ機能を使用したい場合、モバイルフォンを起動する前にFAX送信ログファイル（C:\SUPERVOC\SEND\PICFAX.QUE）を削除または一時的に別のフォルダに移動しておいてください。FAX送信ログファイルがあると一定時間ごとにファイルへのアクセスが行われスタンバイ機能を使うことができません。

電話(ハンズフリーホン)として使う

◆電話をかけるとき

①相手先番号を数字ボタンまたはキーボード（半角数字）で入力する

ダイヤル音に続いて呼び出し音が聞こえます。
相手が応答したら、通常の電話のように会話してください。

お願い

- **コンピューター本体の省電力機能について**
  省電力設定（工場出荷設定を含む）によっては通話中に相手の声が聞こえなくなることがあります。その場合、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「電源の管理」で「OPL3-SAx電源管理」をクリックし、「パワーセーブしない」を選んでください。
- **スピーカーの音量について**
  ハンズフリーホン機能を使って呼び出し音の鳴らない相手（例えば117番）に電話をかけると、数秒後にスピーカーの音が急に大きくなります。呼び出し音の鳴らない相手に電話をかける際には、スピーカーの音量を大きくしないようにしてください。

お知らせ

- **番号を入れなおすとき**
  「クリア」ボタンで一括削除、Back space で１字ずつ削除することができます。
- **アドレス帳機能について**
  Windows標準の「アドレス帳」(Outlook™ Express)を作成している場合、相手先をジョグボタンまたはキーボードの上下カーソルキー（ ↑ ↓ ）で選ぶことができます。(→ 21ページ)

使いかた

◆電話がかかってきたとき

「アンサー」をクリックした後、通常の電話のように会話してください。

お知らせ

- **留守番電話機能について**
  電話に出れないときは留守番電話機能を使うことができます。（→ 8ページ）
- **呼び出し音について**
  お好みのWAV形式のデータに変更することができます。（→ 13ページ）
- **FAXを受信したとき**
  「アンサー」をクリックするとFAX信号音が聞こえます。「FAX」をクリックするとFAX受信が始まります。（→ 19ページ）

◆電話を切るとき

受話器を置いた状態（回線切断状態）になります。

使いかた

留守番電話として使う

留守番電話機能を設定する／解除する

◆留守番電話を設定する

点灯する（留守番電話設定時）

モバイルフォンには標準の応答メッセージが用意されています。
標準メッセージ
「ただいま留守番電話が応答しています。ご用件のある方は、発信音の後、
メッセージを入れるか、そのままFAXをお送りください。」
（応答メッセージを変更したい場合　→ 10ページ）

◆留守番電話を解除する

消灯する（留守番電話解除）

着信したメッセージを聴く

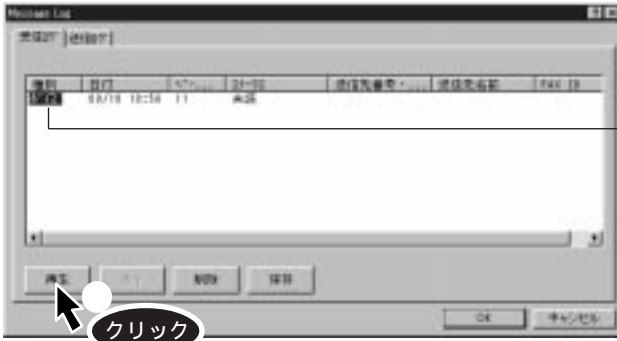
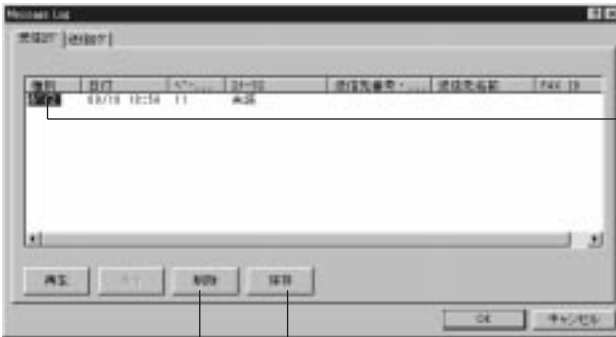
1

新しいメッセージ
を受信すると

点滅する

2

メッセージを再生します。

使いかた

◆メッセージをファイルに保存・削除する

削除するとき

保存するとき
このボタンをクリックし、画面にしたがって操作してください。WAV形式の音声データで保存されます。

留守番電話として使う

応答メッセージを変更する

用途にあわせてオリジナルの応答メッセージを作成し、設定できます。
録音を行う前に、音声データの形式を応答メッセージとして再生可能な設定にしておく必要があります。

◆録音設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「サウンドレコーダー」をクリックする。

使いかた

2

3

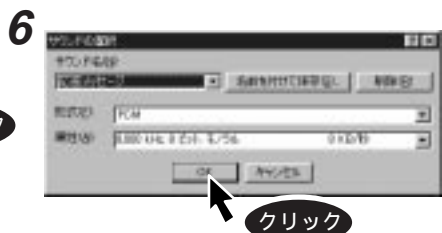
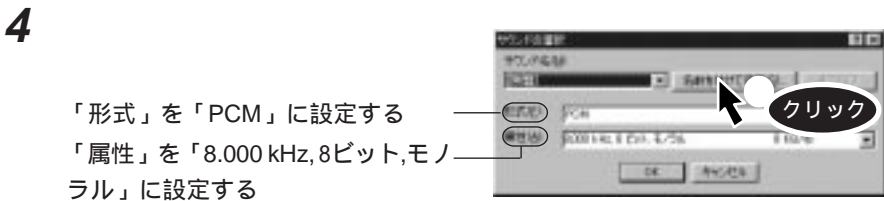
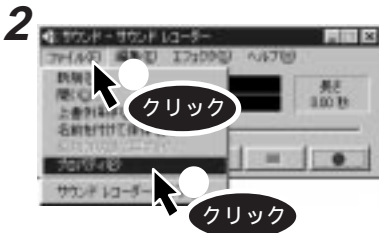
クリック

4

①「形式」を「PCM」に設定する

②「属性」を「8.000 kHz, 8ビット,モノラル」に設定する

5 **6**

7

次回からは手順5で設定した名前を選ぶだけで録音設定になります。

◆応答メッセージの録音を行う

録音を行う前にマイク入力レベルを確認してください。また、再生可能な音声データの形式に設定しておく必要があります。（→ 10ページ）メッセージの内容はあらかじめ決めておくことをおすすめします。

1 2

3

4

録音状態を再生し、問題がなければ保存します。気に入らないときは、再度録音を行ってください。

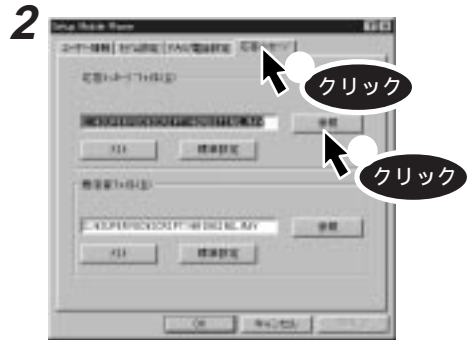
モバイルフォンの音声データは以下のフォルダーに保存してください。
c:\supervoc\script1

留守番電話として使う

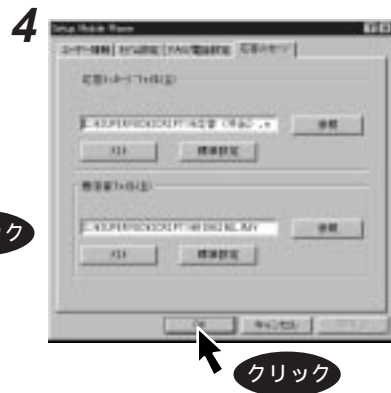
◆応答メッセージを設定する

1

2

3

①応答メッセージを保存した
フォルダーから選ぶ

4

使いかた

呼び出し音を変更する

応答メッセージの設定と同様の手順（→ 10ページ）で、WAVデータを設定してください。

呼び出し音の設定

お願い

- **呼び出し音の長さについて**
  呼び出し音はWAVデータの先頭約１秒分が繰り返されます。作成の際には１秒程度の短いWAVデータにしてください。再生時間の長いWAVデータを使うと通話を始めてもWAVデータが鳴り続け、通話の妨げになります。
- **呼び出し音の形式と属性について**
  呼び出し音のWAVデータの形式は「PCM」、属性は「11.025 kHz,16ビット,モノラル」に設定しておいてください。

使いかた

FAXを送信する

クイック送信機能を使う

送付する内容が表や図を含まない文章だけの場合に便利です。
送付状（表紙）を自動的に添付し、送信することができます。

◆発信者情報を設定しておく

送付状に発信者情報を自動的に書き込むことができます。

1

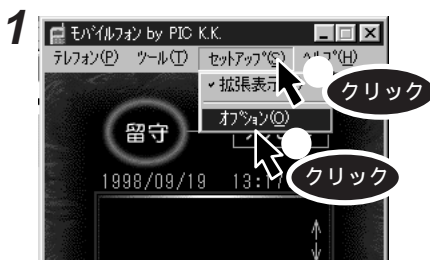
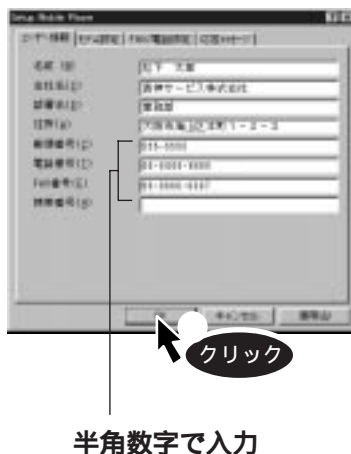
モバイルフォン by PIC K.K.
テレフォン(P)　ツール(T)　セットアップ(S)　ヘルプ(H)
✓拡張表示
オプション(O)
留守
1998/09/19　13:17

①クリック
②クリック

2 ①必要な項目を入力する

半角数字で入力

◆FAX送信する

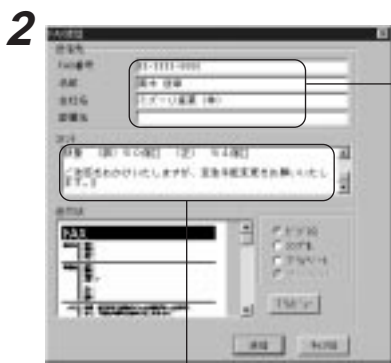
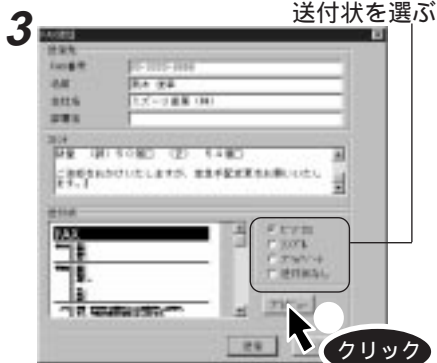
1

お知らせ

- **アドレス帳機能について**
  Windows標準の「アドレス帳」(Outlook™ Express)を作成している場合、送信先をジョグボタンまたはキーボードの上下カーソルキー（ ↑ ↓ ）で選ぶことができます。送信先をその都度入力する必要がなく便利です。
  (→ 21ページ)

2

①送信先を入力する

②文章を入力する

3

①送付状を選ぶ

②クリック

3種類の送付状（表紙）が用意されています。

お知らせ

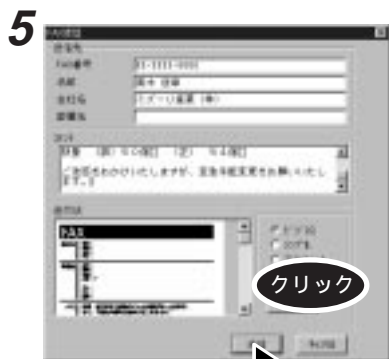
- **送信できる文章の行数について**

  選んだ送付状により異なります。以下の行数より多い文章は送信できません。
  ビジネス：22行、シンプル：17行、プライベート：18行

4

①スクロールバーをスライドして送信先、送信内容を確認する

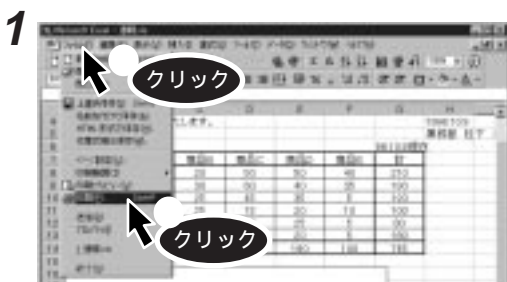
5

6

送信が始まります。

FAXを送信する

アプリケーションソフトからの文書送信

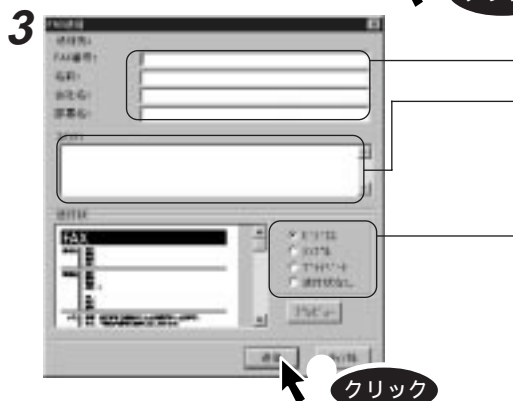
市販のワープロソフトや表計算ソフトで作成した文書をFAXすることができます。

1

文書を作成したら、アプリケーションソフトから「印刷」コマンドを実行します。（画面は市販の表計算ソフト Microsoft® Excel 97**の使用例です。）**

2

①用紙サイズをA4またはLetterサイズに設定する

②「PIC FAX」を印刷出力先に選ぶ

3

①送信先を入力する

②必要に応じて文章を入力する

（行数の制限→ 15ページ）

③必要に応じて送付状を選ぶ

お知らせ

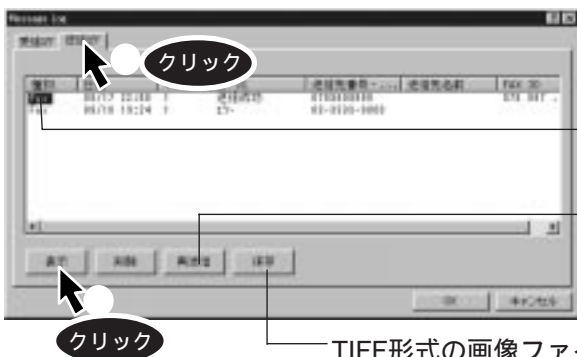
デスクトップ上に「PICFAX」という名前のファイルが表示されます。このファイルは削除しても問題ありません。

使いかた

送信内容を確認する

送信したFAXの内容や送信状況を確認することができます。

1

2

②表示する文書を(1つ)選ぶ

再度送信することができます。

TIFF形式の画像ファイルとして保存できます。

3

画像編集ソフトウェア「イメージング」が起動し、送信内容が表示されます。(→ 20ページ)

FAXを受信する

FAXを受信する

FAXを受信する場合もモバイルフォンを起動し、待ち受け状態にしておく必要があります。

◆留守番電話機能を設定している場合

自動的にFAXを受信します。

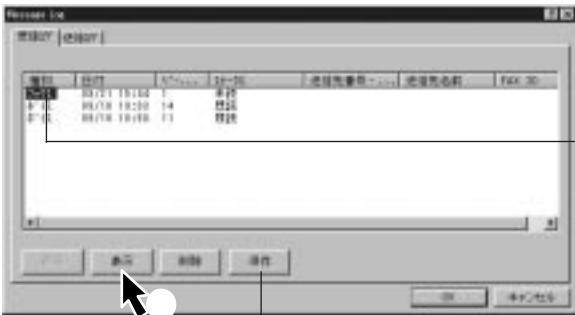
> **お知らせ**
>
> **留守番電話機能を設定していても、その場にいて応答できるときは「留守番電話機能を設定していない場合」と同じ操作を行ってください。**

1

呼び出し音の後、自動的に受信が始まります。右のメッセージが正しく表示されないことがありますが受信動作には影響ありません。

2

受信が完了すると点滅します。

3

①メッセージを(1つ)選ぶ

②クリック

TIFF**形式の画像ファイルとして保存できます。**

◆留守番電話機能を設定していない場合

呼び出し音が鳴ったら以下の操作をしてください。

1

ビーというFAX信号音が聞こえたら

お知らせ

内蔵モデムを使用しない場合（携帯電話インターフェースユニットなどを使う）場合、「アンサー」をクリックすると自動的に受信が始まります。

2

受信が始まります。上のメッセージが正しく表示されないことがありますが受信動作には影響ありません。

3

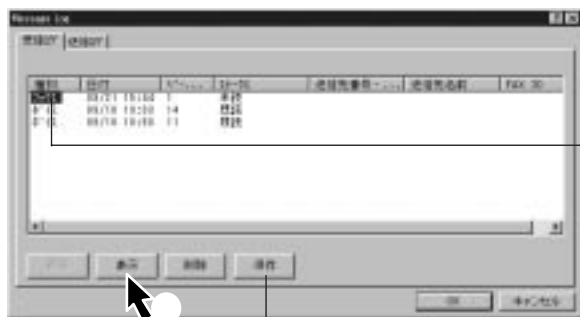
PIC K.K.

(T) セットアップ(S) ヘルプ(H)

メッセージ

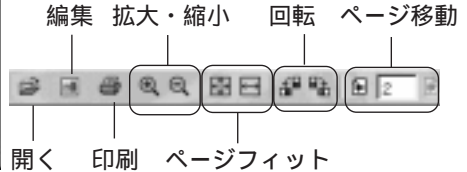
クリック

受信が完了すると点滅します。

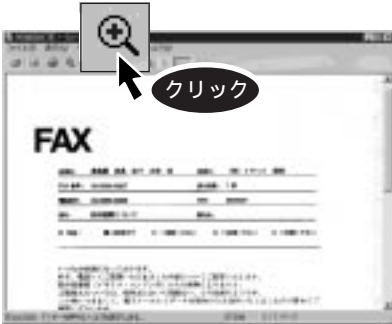
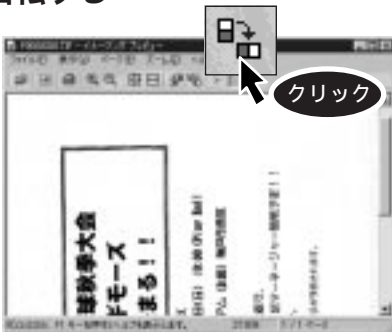
4

①メッセージを(1つ)選ぶ

TIFF**形式の画像ファイルとして保存できます。**

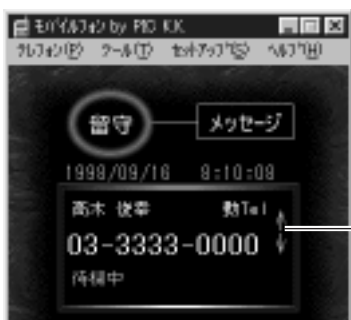
FAXを受信する

画像編集ソフトウェア「イメージング」が起動し、受信内容が表示されます。

使いかた

受信したFAXの表示を見やすくする

◆拡大する

◆回転する

モバイルフォンを活用する

アドレス帳を活用する

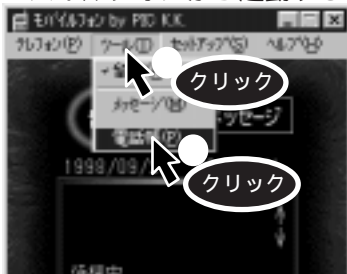
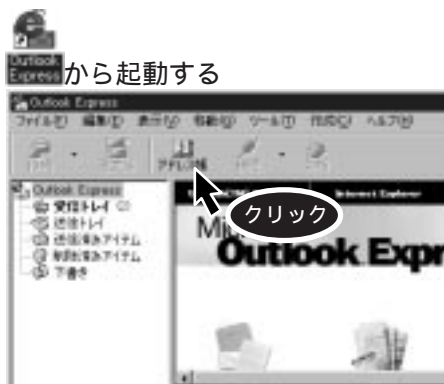
Windows標準の「アドレス帳」(Outlook$_{TM}$ Express)を作成している場合、登録したデータをモバイルフォンからも参照することができます。
ジョグボタンまたはキーボードの上下カーソルキー（ ↑ ↓ ）で選ぶことができ、相手先をその都度入力する必要がなく便利です。
アドレス帳に登録している内容のうち、自宅および勤務先の電話、FAX番号を順に表示します。

ジョグボタン
アドレス帳を作成している場合、登録している内容を順に表示します。

PgUp または PgDn で名前ごとに表示をスキップすることができます。

◆アドレス帳に登録する

1 モバイルフォンから起動する

または

Outlook Express から起動する

お知らせ

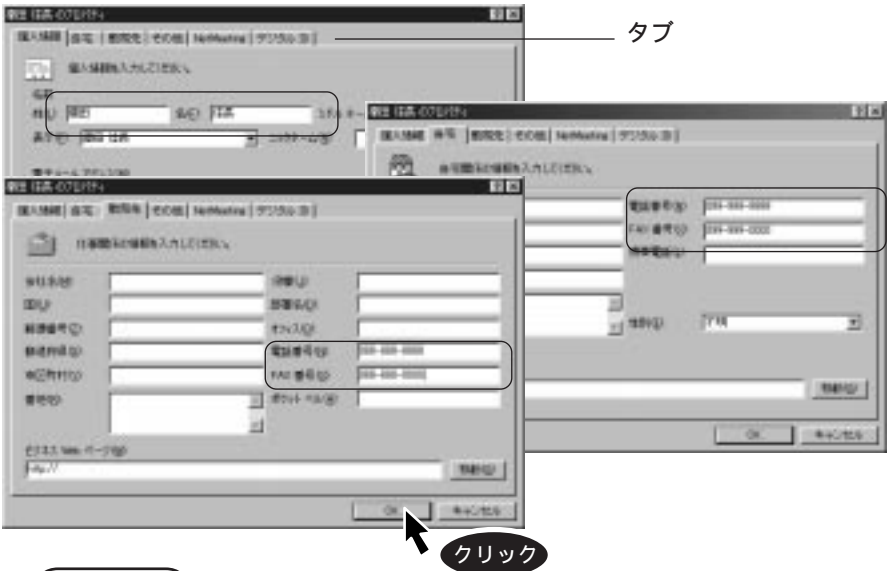
「スタート」→「プログラム」→「Internet Explorer」→「アドレス帳」をクリックして起動することもできます。

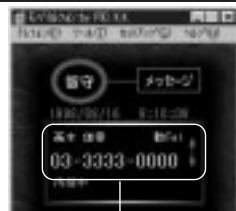
使いかた

モバイルフォンを活用する

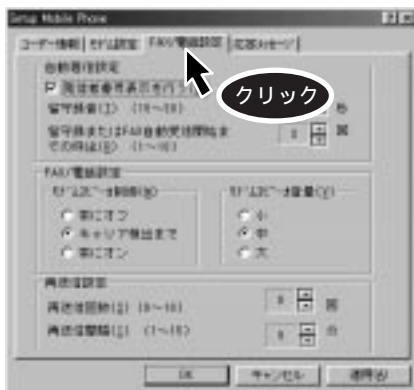
2

クリック

以下のような画面が表示されます。
必要に応じてタブをクリックし、半角数字で電話番号、FAX番号を登録してください。（半角のハイフンや括弧は入力できます。）

お知らせ

- モバイルフォンの相手先表示には上記枠内の内容を表示できます。
  相手先表示内の「勤」は勤務先、「自」は自宅を意味します。
- 携帯電話でモバイルフォンを使用する場合、必ず市外局番から入力してください。

各種設定を行う

1

2

必要に応じて各種設定を行ってください。（括弧内は工場出荷設定）

発信者番号表示（チェックマークなし）

ナンバーディスプレイ対応の回線を使用している場合、着信時に相手番号表示を行います。

留守録音（30秒）

留守番電話機能での録音時間を設定します。

留守録またはFAX自動受信開始までの呼出（3回）

留守番電話機能またはFAX自動受信を開始するまでの呼び出し音の回数を設定します。

モデムスピーカ制御（キャリア）

FAXを受信するときに発信する信号音（モデムスピーカー音）のオン・オフを設定します。

モデムスピーカ音量（中）

FAX信号の音量を設定します。

再送信回数（0回）

FAX送信相手先が通話中などで送信できない場合、何回再送信するか設定します。

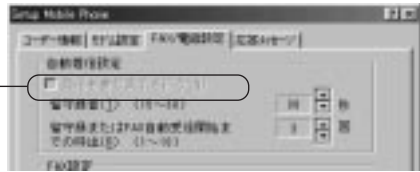
再送信間隔（5分）

FAX送信相手先が通話中などで送信できない場合、何分おきに再送信するか設定します。

モバイルフォンを活用する

お知らせ

発信者番号表示について
- ナンバーディスプレイ回線の契約が別途必要です。
- 内蔵モデムを使用する場合のみ有効です。
- 発信者（相手）側が非通知モードにしている場合や公衆電話、PBX（構内交換機）経由の場合の番号表示はできません。
- コンピューターによっては、この機能に対応していないものがあります。

発信者番号表示に対応していない機種の場合、項目がグレー表示になります。

内蔵以外のモデムまたは携帯電話を使う

携帯電話（携帯電話インターフェイスユニットまたは携帯電話インターフェースPCカードを使用）または内蔵以外のモデム（FAXモデムPCカードまたは外付けモデムを使用）を使用する場合、FAXの送受信機能のみ利用することができます。また、アドレス帳に登録する送信先FAX番号は市外局番から入力しておくことをおすすめします。

- 携帯電話でモバイルフォンを使用する場合、電波の弱い場所で使用すると通信を正常に行うことができません。
  また、電波の不安定な場所で使用しても通信が途中で途切れることがあります。
- 送信先FAX番号はアドレス帳から選ぶか、FAX送信画面(→ 15ページ)で直接FAX番号を入力します。また、FAX番号は市外局番から入力してください。
- 携帯電話を使ってFAXを送信する場合、携帯電話回線のシステム上の仕様としてFAX信号（CNG信号)が送出されません。そのため、電話とFAXを兼用しているFAX機へ送信する時、送信先が電話／FAX自動切替モードにセットされていると、送信したFAXは自動的に受信されません。また、送信先が受話器を取った場合、FAX信号が聞こえず無音となるため、いたずら電話と勘違いされることがあります。携帯電話を使ってFAX送信する場合は、あらかじめ送信先に連絡して手動で受信してもらうか、FAX専用モードにセットしてあるFAX機へ送信してください。

困ったときに開くページ

モバイルフォンを使用する際、思ったとおりに動かないことがあります。おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。また、ソフトウェアによる原因も考えられますので、Windowsやアプリケーションソフトなど各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

こんなときは	ここをお調べください
通信できない。	●電話回線は正しく接続されていますか？ ●モデムは正しく設定されていますか？ （→ コンピューター本体取扱説明書）
相手の声が聞こえない。	●スピーカーをミュート（消音）したり、音量を下げすぎたりしていませんか？
ハウリングが起こる。	●音量を上げすぎていたり、マイクとスピーカーを近づけすぎたりしていませんか？
留守番電話の録音内容が聞こえない。	●スピーカーをミュート（消音）したり、音量を下げすぎたりしていませんか？
携帯電話でモバイルフォンの電話機能が使えない。	●内蔵モデム以外のモデムや携帯電話をお使いの場合、FAX送受信機能のみ使用できます。
ダイヤル入力できない。	●半角数字で入力していますか？ ●内蔵モデム以外のモデムや携帯電話をお使いの場合： （→ 24ページ）
携帯電話を接続して、FAXの送受信ができない。	●電波の状態は良好ですか？ 電波が弱かったり、不安定な状態では正常に通信はできません。 ●携帯電話との接続・設定は正しく行われていますか？
通話中に急に相手の声が聞こえなくなった。	●「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「電源の管理」で「OPL3-SAx電源管理」をクリックし、「パワーセーブしない」が選ばれていない場合、省電力機能により、一定時間ミュートされることがあります。

困ったときに開くページ

◆モバイルフォンについてのお問い合わせ先

株式会社　パシフィックイメージコミュニケーションズ

電話　06-6378-0161

FAX　06-6368-3118

E-Mail: pictech@supervoice.co.jp

ユーザー登録　http://www.supervoice.co.jp/

サポート受付時間

祝祭日および年末年始を除く月曜から金曜日まで

10:00から12:00まで

13:00から17:00まで

日本語による問い合わせに限らせていただきます。

Panasonic 電話・FAX機能ソフトウェア モバイルフォン 取扱説明書

松下電器産業株式会社　パーソナルコンピュータ事業部

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

FJ1098-2019

DFQM5248YA

Printed in Japan